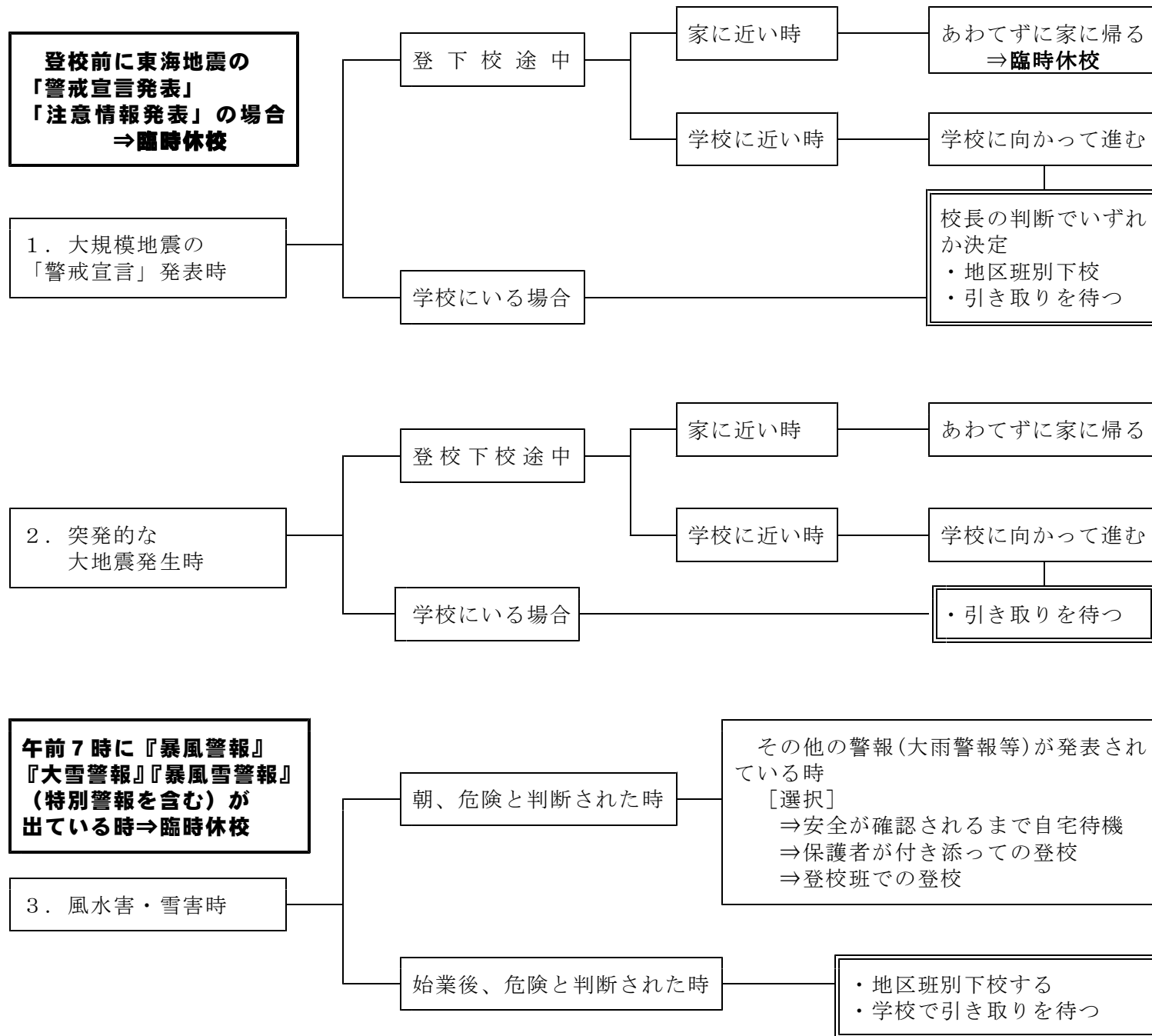


災害発生時（または災害予想時）における安全な対応の仕方について



災害時の心構えについて

- ふだんから災害時に備えて、家族としての対応の仕方を話し合っておいてください。
- 台風・大雨・大雪・群発地震等、あらかじめ危険な状態が予想される時は、地区班別下校等の事態に備えた準備をお願いします。
 - ・できれば外出をお控えください。
 - ・やむを得ず外出される時は、校外委員または、世話人等に対する対応の仕方についての連絡を前もって入れてください。

【大規模地震の「警戒宣言」発表について】

- ・「警戒宣言」は、地震予知班の連絡を受け、内閣総理大臣が発令するものです。
- ・「警戒宣言」はテレビ、ラジオ、広報車、消防車、パトカー、ヘリコプター、警鐘、サイレン等で伝達されます。
- ・「警戒宣言」は学校からは伝達されません。

【地区班別下校について】

- ・地区班別下校の際には、**メール配信**で連絡します(メール未登録の家庭には直接電話連絡)。世話人の方は、各地区の教室まで引き取りをお願いします。世話人と教職員とで引き渡し場所(班の集合場所)まで引率します。
- ・集合場所には、保護者の方が迎えにきてください。
- ・世話人が各家庭と連絡が取れない場合は、引き取っていただく方が来校するまで、学校留め置きとします。

【児童引き取りについて】

- ・保護者の方の引き取りがあるまで、学校留め置きとします。

【警報発表時の登校について】

- ◎警報が発表されていることについては、ご家庭でテレビ等の天気予報をもとにご判断をお願いします。
- ①午前7時に『暴風警報』『大雪警報』『暴風雪警報』が発表継続中の場合 ⇒⇒全市一斉に臨時休校になります。
 - *警報の種類『暴風警報』『大雪警報』『暴風雪警報』に限ります。(大雨・洪水等を伴うものも含まれます)
 - *発表地域 神奈川県全域または神奈川県東部または横浜・川崎
- ②『大雨警報』『洪水警報』等その他の警報発令の場合 ⇒⇒各ご家庭で判断し選択してください
 - *危険を避けるために自宅待機等の処置をとられた場合「遅刻」「欠席」等にはなりません。お子さんの安全を第一にお願いします。

要保存

非常時下校形式 一覧

○場面の状況（※緊急度）に応じ、職員に確認の上、校長が決定する。
○被害発生時間帯など、不測の状況により、臨機応変の措置を執る場合もある。

※	下校形式	場面	実施履歴	人員集約	下校の形	引率	はまっ子	学童(迎え)
特	引き取り下校	地域全体の被害が大きく、集団を引率して下校させることも困難であると判断される	3 / 1 1 当日	個別全校集約カードの活用	保護者引き取り	(保護者)	× ☆注1	×(なし) ☆注2
大	地区班別下校	風雨災害等により、児童が個別に下校することが困難であると判断される						
中	地区班別下校	下校路に特別の支障はないが、下校中に災害等不測の事態が発生する可能性が大きい	3 / 1 1 以降 3 月中の下校	班毎に確認 地区班名簿	登校班別	各地区担当が引継ぎ場所まで (世話人さんおよび保護者も同行)	○(お迎え 予定児童) ×(その他の児童)	○(あり)
小	方面別下校	緊急災害の可能性は小さいが、児童の下校を見守る必要がある	1 年生の入学 当初	方面毎に集合	方面毎	学校近辺まで		
一	一斉下校	安全意識を高めるために、全校一斉に下校する場を設ける	毎月1回の定期実施	特になし	通常通り	学校近辺まで	○	○(なし)

☆注1……3 / 1 1のように、下校時間帯に災害発生、一部児童がすでにはまっこに滞在しており、学校対応が、初期段階で引き取り→後、状況判断により地区班別や方面別下校になったとき、……はまっこ児童も合流し一緒に下校。ただし、「お迎え」で受け付けている児童については、はまっこに留め置き。

☆注2……**地震以外の場合**、状況により、指導員が対応する。